

事務事業評価シート

(H.30)No.	5038	(H.29)No.	5038
-----------	------	-----------	------

事務事業名	防災センター費		
担当部局名	担当室名	室長名	
市長直轄	危機管理室	谷本 佳司	

会計区分	事業コード	454601
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款	消防費	防災センター費
項	消防費	(小事業名)
目	防災対策費	防災センター費

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	2	美しい自然に包まれ快適に暮らせるまち
	基本施策	3	安全で安心なまちづくり
	施策	1	防災・減災
重点プロジェクト			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
防災センターを活用し、市民の防災意識の高揚及び防災知識・技能の普及啓発に努めます。また、大規模災害発生時に、市災害対策本部の活動を迅速かつ円滑に行えるよう体制強化を図ります。
事業内容
防災センターを消防庁舎に併設し、平時は防災関係の研修会や講演会、市民に身近な防災体験学習の場として活用するとともに、市民のまちづくり活動や生涯学習活動の場として活用しています。 また、大規模災害発生時は、防災研修室に市の災害対策本部を設置し、災害応急対策の活動拠点として活用します。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

主な事業の実績・計画	H.29年度(事業量・取組実績)		H.30年度(事業量・取組計画)			
	・防災体験学習コーナーの活用による市民の防災意識高揚 ・防災研修室の有効活用 AED賃借、貸館業務委託、設備点検・修繕等		・防災体験学習コーナーの活用による市民の防災意識高揚 ・防災研修室の有効活用			

主な事業の実績・計画	H.31年度(事業計画)	H.32年度(事業計画)	H.33年度(事業計画)
	・防災体験学習コーナーの活用による市民の防災意識高揚 ・防災研修室の有効活用	・防災体験学習コーナーの活用による市民の防災意識高揚 ・防災研修室の有効活用	・防災体験学習コーナーの活用による市民の防災意識高揚 ・防災研修室の有効活用

	H.29年度(決算見込)		H.30年度(作成時予算額)		H.31年度(計画予算)	H.32年度(計画予算)	H.33年度(計画予算)
	H.28繰越分	H.29現年分	H.29繰越分	H.30現年分			
①直接事業費		1,960千円		1,275千円	1,194千円	1,194千円	1,194千円
内訳(千円)	国・県支出金						
	地方債						
	その他(使用料等)		575		591	491	491
	一般財源	0	1,385	0	684	703	703
人工数	職員		0.09人	0.20人	0.20人	0.20人	0.20人
	臨時職員等		0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
②概算人件費	0千円	666千円	0千円	1,480千円	1,480千円	1,480千円	1,480千円
①+②総事業費	0千円	2,626千円	0千円	2,755千円	2,674千円	2,674千円	2,674千円

4. 担当室による事務事業の点検

考察(H.29年度の取組評価、課題、施策への貢献、市民との協働など)
・防災研修室の利用数については増加傾向にあり、地域の生涯学習の場として、また、大規模災害時には災害対策本部及び市総合防災訓練の会場として活用されています。防災体験学習コーナーの利用については、学校、地域等の利用が主体となっています。学校・地域以外の利用者が来場されるような施設・メニューのリニューアル等の検討が必要です。 ・防災研修室の貸館業務を中央ゆめづくり協議会に委託しています。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合(予定含む)、休止(予定含む)、廃止(予定含む)、事業完了(予定含む)	継続(改善)
今後の対応方針(課題解決への取組内容、具体的な見直し内容、継続の理由等)	6. 事務事業の取組に関する市の計画 名張市地域防災計画
・学校・地域の利用があり、市民への防災に係る意識向上・啓発に寄与できていることから、改善をしながら継続します。 ・防災体験学習コーナーの利用促進を図るとともに、効率的な運営が可能な方法について検討します。	